

未来立憲民主ちば

議会だより 2021年 春号

私たちは市民の皆様の声をかたちにします！

お近くの議員または未来立憲民主ちばへお気軽にお寄せください。

TEL : 043-245-5482
FAX : 043-245-5566

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1 千葉市議会事務局内
ホームページ <http://miraiminshu.com/>
E-mail: chiba@miraiminshu.com



私たち千葉市議会「未来立憲民主ちば」は、立憲民主党所属議員 9 名と無所属議員 3 名の計 12 名で会派を形成しており、千葉市議会第 2 会派となります。「未来立憲民主ちば」は、「真の二元代表制の一翼を担う健全かつ清新な議会運営」を標榜する中核会派として、会派の諸活動ならびに、それぞれの議員の地域における精力的な各種活動と対話を通じて得た「市民の切実な要望」を重点事項として絞り込み、新年度予算を要望し、予算化へ取り組みました。今後は、熊谷市政を後継する神谷市長の与党会派の立ち位置で、引き続き、財政健全化に向けた取り組みを堅持しつつ、未来への投資を適切に行い、市民誰もが真に「夢と希望を育み、生涯を託していける」郷土千葉市を目指した市政運営を求め、会派一丸となって取り組んでいきます。



新型コロナウイルスワクチン接種が始まります！

● 優先順位があります。

接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。このワクチンの接種対象者は 16 歳以上の方となっております。一定の接種順位で、接種が行われます。

- ① 医療従事者等
- ② 高齢者（令和 3 年度中に 65 歳に達する、昭和 32 年 4 月 1 日以前に生まれた方）
- ③ 上記①～②以外の方で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
- ④ その他上記①～③以外の方 接種回数は、2 回となります。

● 接種が受けられる場所と予約方法は？

住民票がある市町村の医療機関等で接種を受けていただきます。かかりつけ医など身近な医療機関で接種を行う個別接種を中心に、補完的に市の公共施設で集団接種を実施します。

※ワクチン接種に係る情報は変わる可能性があります。随時、市ホームページやコールセンターでご確認ください。

【個別接種会場】市内の医療機関（約 300 ケ所）
詳細は、市ホームページなどでお知らせします。

【集団接種会場（日曜日に開設する接種会場）】
千葉中央コミュニティセンター 6 階体育館
所在地：千葉市中央区千葉港 2-1 開設日：毎週日曜日
開設時間：9 時～17 時まで

● 接種を受ける手順は？

- ① 千葉市が、段階的に接種券（クーポン券）をお届けします。
- ② 接種可能な時期が来たことを市ホームページなどでご確認ください。
- ③ 予約した日時に医療機関等で接種してください。接種の際は、「ご自身の新型コロナウイルスワクチン接種券」と「予診票」、「本人確認書類（運転免許証や被保険者証等の氏名等を確認できるもの）」を必ずお持ちください。

接種予約、接種場所、接種券発行に関すること

千葉市コロナワクチン 接種コールセンター

電話番号 0120-57-8970

受付時間 8 時 30 分～18 時 00 分

※土日・祝日を含む（年末年始は除く）

※耳や言葉が不自由な方は、

電子メールでお問い合わせいただけます。

cv-call@city.chiba.lg.jp



税金の有効な使い方のために～県市連携の推進を！

千葉市は政令指定都市であるため県とほぼ同等の権限を持っています。現状、市と県が十分に連携していると言えない状況にあります。我が会派は、より行政効率と市民サービスの向上を進めるために、県との一体的な事業取り組みを求めてきました。

水道事業の広域化へ

千葉市の水道は、県（95%）と市（5%）の給水区域に分かれており、市水道事業は毎年巨額の赤字が発生（R1 年度約 10 億円の赤字、年々赤字額は増加傾向）しています。税金をより有効に使い、今後の人口減少時代に備えるためにも県と市が別々に行っている水道事業を統合し、経営効率化を進める必要があります。

老朽化したマリノスタジアムの建替え

将来の建替え用地として幕張メッセ駐車場用地等、県と市一体となって費用対効果について検討を行い、2023 年度中に開業する新駅を活かし、スタジアムへのアクセスを大幅に向上させ、幕張新都心全体の活性化を求めています。

ヘリコプターの運用

県は防災ヘリコプターを持っていないため、千葉市の 2 機の消防ヘリコプターが災害時県域の情報収集していることから、年間数億円の運用費を負担しています。更に老朽化したヘリコプターの更新のため、20 数億円の予算化が必要のため、県との共同運用が不可欠となります。

二重行政の解消へ

県営住宅と市営住宅の連携
・県立美術館と千葉市美術館の共通券等の連携
・防災対策等県市にまたがる様々な課題に対し、県市の合同対策本部を設置し、千葉の総力を挙げての対策を検討する 等々

神谷新市長と熊谷知事（千葉市前市長）の 緊密なコミュニケーションの実現へ

令和3年度の会派要望により予算化された事業

予算化された事業をピックアップ



新型コロナウイルス関連の要望書を市長へ（3回）、また、例年11月に新年度予算要望書を市長へ提出しました。予算化を実現した主な事業です。

PCR検査拡充状況



【PCR検査拡充状況】

- 令和2年4月16日 ドライブスルー方式による検体採取
- 同年8月～ 市環境保健研究所にPCR検査機器を増設・出産前の妊婦のPCR検査費用の助成
- 同年9月～ 中央区繁華街の接待を伴う飲食店従業員向けPCR検査の実施
- 同年11月30日～ 高齢者施設等PCR検査等費用助成制度開始（助成率3分の2）
- 令和3年2月～ 高齢者施設等PCR検査等費用助成制度（助成率10分の10）
- 予算：令和2年度1.67億円⇒令和3年度1.93億円
- 今後も更なるPCR検査体制の拡充・無料化を求めています。

あなたが使える制度お知らせサービス開始



●各種手当の受給や健康診査などの利用について、自ら検索や問い合わせを行う負担を軽減するため、各制度の受給対象者となる可能性のある方に対し、LINEのメッセージにより個別にお知らせし、受給漏れの防止を図るサービスを実現しました。



特定不妊治療費の助成拡充



- 不妊治療に係る経済的負担の軽減を図るため、助成内容の拡充を実現しました。
 - ・所得制限撤廃とし、所得制限なし
 - ・治療内容により30万円または10万円
 - ・助成回数を子ども一人につき最大6回
 - ・事実婚対象へ

おくやみコーナーの設置



- 死亡時の諸手続きをワンストップで行えるサービスを、モデルとして緑区役所に設置を実現しました。（代表的な手続き：葬祭費請求手続き、住民票除票、年金受給停止、健康保険資格喪失届、世帯主の変更等、50種類程度あり）

GIGAスクール構想が本格的に始動



- 児童・生徒に1人1台のパソコン（PC端末）配備が実現しました。（GIGAスクール構想とは、1人1台PC端末と高速大容量の通信ネットワークを整備し、最先端のICT教育を取り入れ学校教育の劇的な改革を進める構想）

ICT支援員の拡充



- 各校にICT支援員の配置を実現しました。引き続き、子どもたちの資質・能力が一層確実に育成できる教育環境の充実を目指します。（ICT支援員とは、教員がICTを活用しての授業を円滑行うためのサポーター）

千葉市の食のブランド化を推進します



- 千葉市の「食」・「食文化」を未来に残すために、優れた地域産品であると同時に、社会課題の解決に取り組む生産者・事業者のつくる商品・サービスを認定する千葉市の地域ブランド「千」の販路拡大支援、事業者育成・競争力強化支援に取り組み、千葉市の新たな強み・魅力の掘り起こしを目指します。

多胎妊娠の妊婦健康診査拡充



- 多胎妊婦の経済的負担の軽減に向け、妊婦健康診査の助成回数を現行の14回から19回に拡充しました。



“将来の千葉市のために”
神谷新市長と約束しました！

その他、予算化された主な事業

新規

- EV（電気自動車）マッチングネットワークの構築
- 防災無線とコミュニティFM連携
- JR海浜幕張駅改札口新設
- デジタルサイネージによる災害情報等の配信
- 総合防災情報システムの構築
- コード決済による市税の納付
- ひとり親家庭の養育費に関する支援
- 250競輪開催
- 動物愛護施策の推進（新「動物愛護センター」建設推進）
- 子どもへの性犯罪・性暴力初期対応研修

拡充

- 生活困窮者対策
- ごみ削減普及啓発
- 生活保護世帯等に対する学習、生活支援
- 介護人材の確保
- あんしんケアセンターの充実
- 生活支援体制整備の推進
- 子どもルーム整備、運営
- 放課後児童健全育成事業補助
- 子育て短期支援
- 児童自立生活援助
- 子どもナビゲーターの拡充
- 児童相談システムの刷新
- 民間保育園等整備
- 公立保育園の建替え
- 保育の質の確保
- 多様な保育需要への対応
- 再生可能エネルギー等導入の推進
- 森の安全対策
- 粗大ごみのインターネット申込と電子決済
- 専科指導のための講師の配置
- 全市立小・中・高・特別支援学校にスクールサポートスタッフ配置
- 学校防犯カメラの設置拡充
- スクールカウンセラーの拡充
- 不登校児童生徒の学習支援とフリースクールとの連携
- アフタースクールの拡充
- 中学校等英語外国語指導助手派遣
- 電子書籍整備
- オリンピック・パラリンピック教育の推進

